



本郷学園

会津美里町立本郷学園
令和7年度学校だより No.28
令和7年11月21日
発行者 校長 星 潔

頑張れ期末テスト

本日まで後期課程の期末テストが行われました。子ども達は、期末テストに向けた学習計画を立て、「**本**気で **郷**GO!」で準備をしてきたはずです。ここまでの自分自身の学習への取り組みが結果に表れると思いますので、終わった後は反省や復習をしっかりと、また次のステップへ進んでほしいと思います。前期課程もまとめのテストなど、テストがたくさんある時期です。子ども達が、テストをきっかけに、自分自身をしっかりと振り返り、未来に向けて努力して行ってほしいと思います。期末テストは終わりましたが、日々の学習にしっかりと取り組む「**チーム本学**」の子ども達であってほしいと思います。

キャリア教育講演会より！

11月12日(水)に実施したキャリア教育講演会。子ども達はたくさんのことを感じる事ができたようです。以下、いくつか子ども達の感想を掲載します。

- 先生のお話を聞いて、家に帰ったら、自分や家族を支えてくれている人に「ありがとう」と言いたいなと思いました。お母さんがしてくれていることは、つい当たり前だと思ってしまっていたけれど、お話を聞いて当たり前ではないことを良く知れました。(6年生)
- 「この時間の使い方です本当に良いのかを自分に問いかけてください」という言葉がとても心に残りました。(6年生)
- 自分にしか持っていない才能を見つけて、これから頑張っていこうと強く思いました。(6年生)
- あきらめないことはやっぱり大切だと改めて思い、本気で変わりたいという意識を「習慣化」したいと思いました。(7年生)
- 運は「運ぶ」ものという言葉が心に刺さりました。私は待っていたので、待たずに取りに行こうと思います。(7年生)
- 生きる上で大切なことをたくさん教えてもらったけれど、特に時間の使い方とあきらめないことが大切だと感じました。(8年生)
- 「諦めないこと」「困難は「今」が難しい」この2つを心の中に叩き込みたい。(8年生)
- 今の自分が変わる可能性を感じることができました。(8年生)
- 1日ごとに「明けましておめでとう」と思うことで、昨日あった嫌なことをリセットすることにします。(8年生)

- ・今までこれから頑張るぞと何回も思ってきたけれど、その気持ちを継続することができていなくて、数日で終わってしまうことが多くあったので「本気で変わるぞ」という熱意を忘れずに継続したいです。(9年生)
- ・部活をやっている時に「この人には勝てない。勝てないからあきらめよう。」と考えたことは、正直、今までありました。そうではなくて、この人との違いは何だろうと見方を変えて、あきらめないことが重要だと学びました。(9年生)

紹介しきれませんが、「家族への感謝」「今までの自分を振り返り今後どうしていきたいか」など全員が前向きな言葉を記入していました。子ども達をこのような心にわずか90分で変化させてくださった的場先生。本当にありがとうございました。



校長のひとりごと

三者面談・個別懇談、お忙しい中、本当にありがとうございました。今回の話し合いを受けて、9年生は進路決定に向けて動き出します。1～8年生は、更なる成長に向けて、連携を深めて参りたいと思います。私は我が子の三者面談、個別懇談にはなかなか行く機会がなく、母親任せのダメ父親でした。ちょうど長男が高校生時代は、学校現場以外で働く機会があり、平日休みが多かったので、長男の三者面談には顔を出していました。進路決定に向けた大切な話し合いの場だったのですが、息子と将来のことについて、しっかりと話し合わないまま面談に臨み、担任の先生に迷惑をかけたことを覚えています。大切なことほど、じっくりと時間をかけて話しておかなければならなかったと反省させられました。家族のコミュニケーションを普段からしっかりと取っていれば、いいだけのことだったのに。バカ話や部活の話などではコミュニケーションを取っていたのですが、息子の将来に関わる大切な話は、決して避けていた訳ではないのですが、コミュニケーション不足でした。「**チーム本学**」保護者の皆様は、大切なこと、大変なこと、面倒くさいことほど、しっかりとコミュニケーションを取ることをお勧めします。

インフルエンザによる、突然の学級閉鎖では、ご面倒をおかけいたしました。学校では、引き続き、感染症の動向を注視してまいります。ご家庭におかれましても、手洗い、うがいなど、子ども達にお声掛けをいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。